



お申込みの際は最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC メキシコ株式オープン

追加型投信／海外／株式

販売用資料
2016年12月版

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

設定・運用は



むさし証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号
加入協会／日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号
加入協会／一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会



当ファンドの特色

主として、米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人*1の投資信託証券への投資を通じて、メキシコ合衆国*2の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

*1 ファンド名は「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド - メキシコ・エクイティ - クラスJC」です。(以下、「HSBC GIF メキシコ・エクイティ」といいます。)

*2 以下、「メキシコ」といいます。



メキシコの株式等に投資します。

- 「HSBC GIF メキシコ・エクイティ」およびETF(上場投資信託)への投資を通じて、以下の株式等に投資します。

投資対象企業	<ul style="list-style-type: none">・メキシコ国内の企業・メキシコにおける事業活動がかなりの部分を占める企業
投資対象有価証券	<ul style="list-style-type: none">・投資対象企業の株式・投資対象企業のADR(米国預託証券)やGDR(グローバル預託証券)等 <p>※預託証券とは、ある国の会社の株式を海外でも流通させるために、当該株式を銀行等に預託し、その見合いに海外で発行される証券のことをいいます。</p>

- 「HSBC GIF メキシコ・エクイティ」の投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。
※ETFへの投資比率の上限は、5%程度とします。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。



「HSBC GIF メキシコ・エクイティ」の運用は、HSBC グローバル・アセット・マネジメント内の運用会社が行います。

- HSBCグローバル・アセット・マネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

※市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

株 価 変 動 リ ス ク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
信 用 リ ス ク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為 替 変 動 リ ス ク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流 動 性 リ ス ク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カ ン ト リ ー リ ス ク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制や税制の変更、新たな規制が設けられた場合には、基準価額が影響を受けることや投資方針に沿った運用が困難になることがあります。新興国市場は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さいことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

<分配金に関する留意点>

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

メキシコとメキシコ株式市場の概要

- 「太陽の国」とも呼ばれるメキシコは、石油、銀など豊富な資源を有しています。
- 中南米を代表する工業国の一つであり、自動車、電気・電子機器などの生産が盛んです。



メキシコ合衆国

面積*	約196万km ² (日本の約5倍)	宗教	キリスト教 (カトリック) が約9割
人口*	約1億2,863万人	通貨	メキシコペソ
首都	メキシコシティ	経済規模*	1兆1,438億米ドル
言語	スペイン語	主要産業	工業 (自動車・同部品、電気・電子機器など) 鉱業 (原油など)

* 面積は2015年時点、人口は2016年予測、経済規模は2015年の名目GDP
 出所：世界銀行、国連 World Population Prospects: The 2015 Revision、外務省、IMF World Economic Outlook Database (October 2016)、JETROのデータをもとにHSBC投信が作成

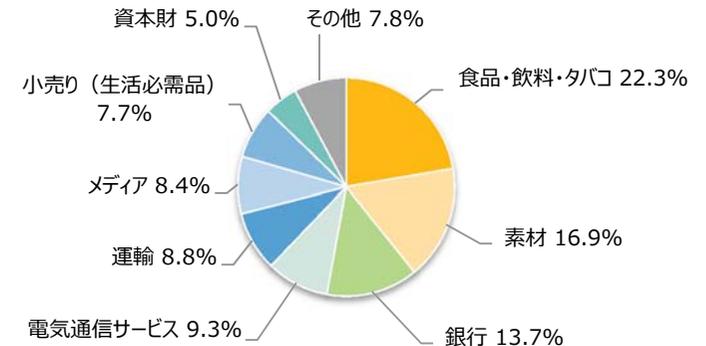


メキシコ証券取引所の概要 (2016年9月末)

時価総額 約38兆円 銘柄数144銘柄

※時価総額は米ドル建てのデータを円換算。
 為替は1米ドル=101.27円 (2016年9月末現在) で換算。
 出所：世界取引所連盟 (WFE) のデータをもとにHSBC投信が作成

IPC指数 (ボルサ指数) の業種別構成比 (2016年9月末)



IPC指数 (ボルサ指数)

メキシコ証券取引所上場の代表的な銘柄で構成される株価指数 (時価総額加重平均指数) です。

※ グラフは表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

1 米国の製造拠点から、中南米、世界の製造拠点へ

1

- 北米自由貿易協定（NAFTA）により米国経済との構造的一体化が進展。地理的優位性を活かし、対米輸出拠点として強みを持つ
- 自由貿易協定（FTA）を強化、現在では40以上の国々とFTAを締結
- 低い労働コストなどを活かした国際競争力のある製造業

2 若い人口を擁する潜在的な成長力

2

- 1億人を超える人口と、その半数以上が30歳未満という若年層が厚い人口構成
- 長期的な労働力の供給と、消費の拡大が見込まれる

3 安定成長する経済

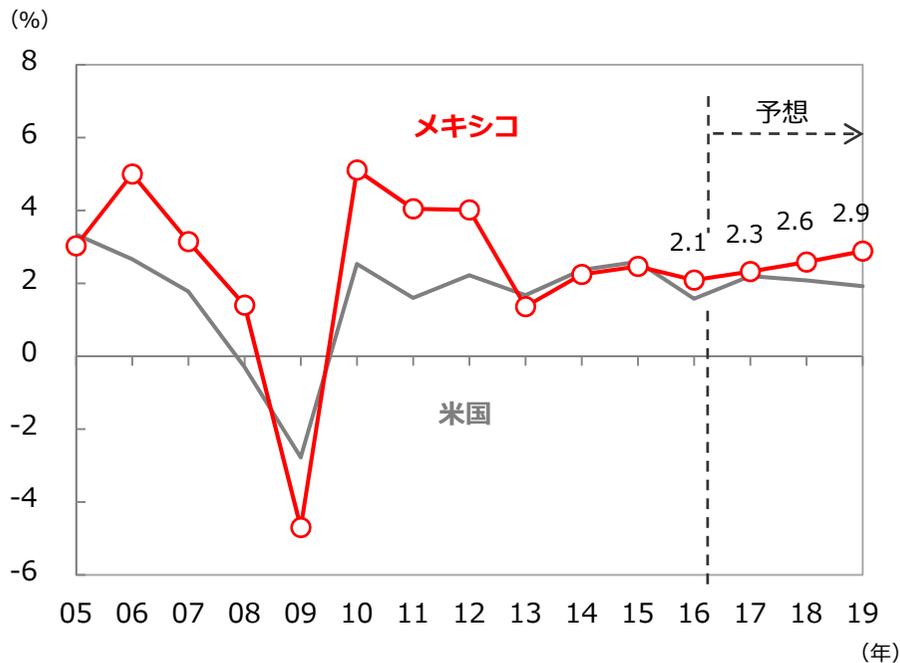
3

- 経済は概ね安定して推移しており、今後は2%を超える成長率を維持する見込み
- 低水準の政府債務残高、落ち着きを見せるインフレ率など経済環境は比較的良好

安定成長するメキシコ経済

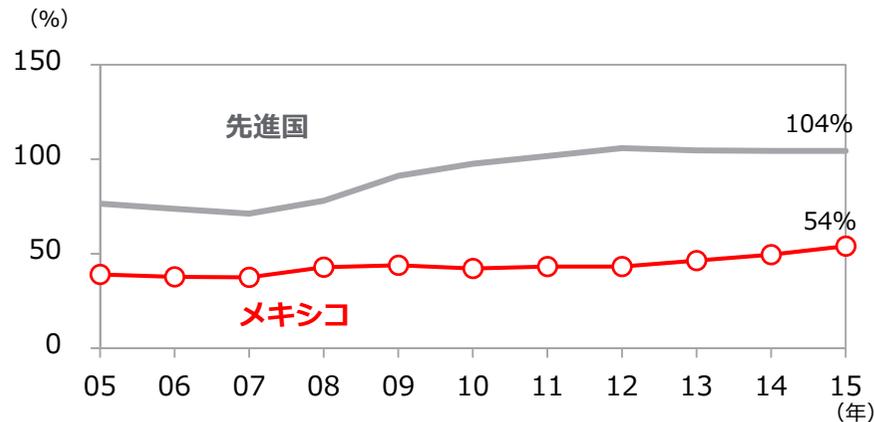
- メキシコ経済はリーマンショック後の2009年に大きなマイナス成長となりましたが、その後は回復軌道に乗り、今後は年率2%を超える安定した経済成長が予想されています。
- 先進国に比べ低水準の政府債務や安定的に推移するインフレ率など、総じて経済環境は良好であるといえます。

実質GDP成長率（前年比）の推移（2005年～2019年）



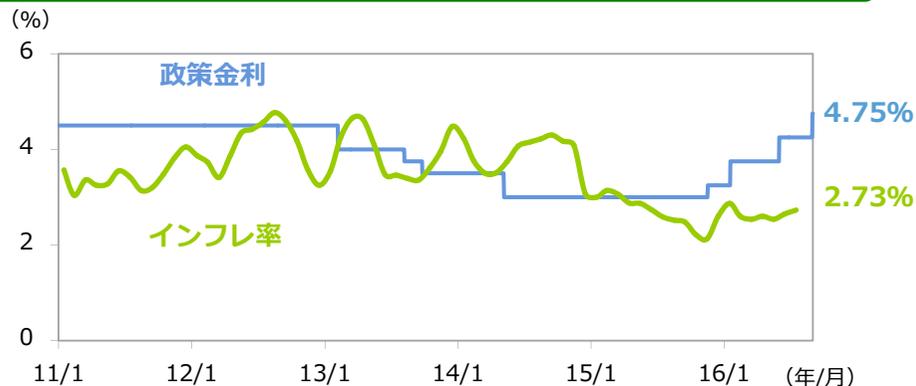
出所：IMF World Economic Outlook Database (October 2016)のデータをもとにH S B C投信が作成

政府債務残高（対GDP比）の推移（2005年～2015年）



出所：IMF World Economic Outlook Database (October 2016) のデータをもとにH S B C投信が作成

政策金利とインフレ率の推移（2011年1月末～2016年9月末）

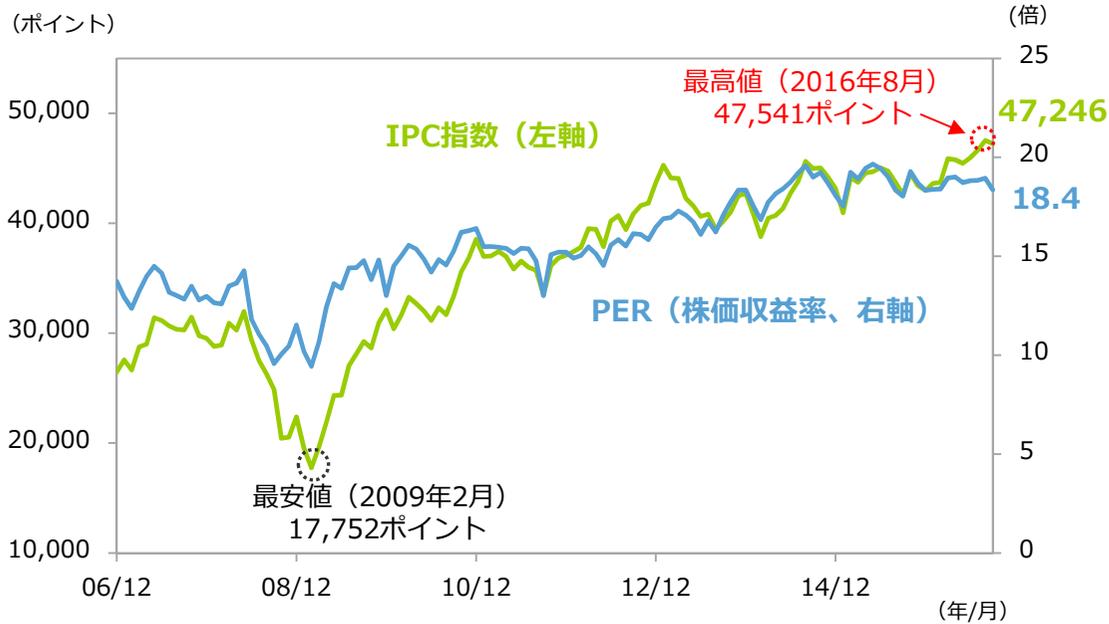


出所：データストリームのデータをもとにH S B C投信が作成

メキシコの株式市場の推移

- メキシコ株式市場は、2008年の「リーマンショック」の影響から一時大きく下落する局面もありましたが、その後は概ね上昇基調にあります。
- メキシコ株式は他国の株式に比べ、比較的米国株式との連動性が高いことが特徴です。

IPC指数とPERの推移 (2006年12月末～2016年9月末)

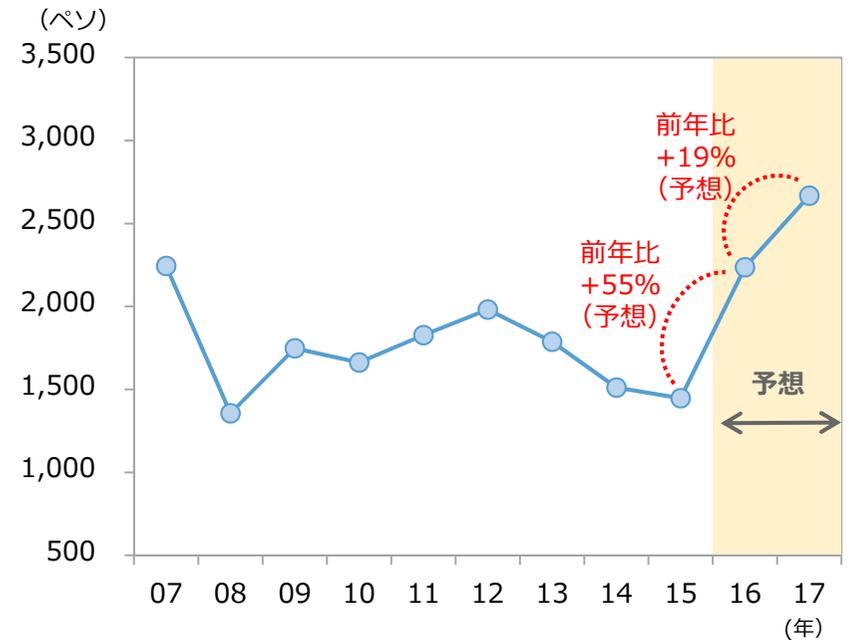


年間騰落率

2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年*
11.7%	-24.2%	43.5%	20.0%	-3.8%	17.9%	-2.2%	1.0%	-0.4%	9.9%

*2016年の年間騰落率は9月末まで
 ※最高値、最安値は月末時点の数値
 出所：データストリーム、ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

IPC指数の1株当たり利益 (EPS) の推移 (2007年～2017年)



1株当たり利益 (EPS)

1株当たりの当期利益の水準を表しています。税金支払い後の企業の純利益を発行済み株式数で割って算出します。この数値が高いほど企業の収益力が高いことを意味します。

※予想はブルームバーグが集計したアナリスト予想値 (2016年10月7日現在)
 出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

メキシコの代表的な企業の紹介

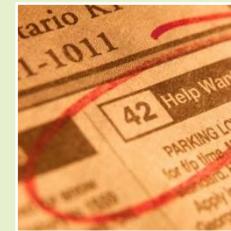
アメリカ・モバイル（電気通信サービス）

固定・携帯電話のほか、データ通信、有料TVなどをメキシコのみならず北米・中南米で展開する通信事業統括会社。固定・携帯電話は国内シェアトップ。



グルポ・テレビサ（メディア）

メディア、エンターテインメント会社。国内のみならず、スペイン語圏で事業を展開する。テレビ番組の制作・放映、出版、ケーブルテレビ、ラジオ番組制作、映画などの事業に出資。



ウォルマート・デ・メヒコ （食品・生活必需品小売）

米ウォルマートが出資する大手スーパー、メキシコおよび中米の事業を統括。スーパーマーケット、ディスカウントストアなどをメキシコおよび中米で展開。



グルポ・メヒコ（素材）

鉱業、運輸（鉄道）、インフラ（建設・エンジニアリング）の3部門の子会社を統括する持株会社。特に銅の生産では世界的大手であり、メキシコのほか、ペルー、米国でも事業を展開。



グルポ・フィナンシエロ・バノルテ （銀行）

外資系が大手を占めるメキシコ銀行業界で地場系トップの大手金融グループ。銀行業務、プレミアムバンキング、ホールセールバンキング、保険、年金などのサービスを提供。



フォメント・エコノミコ・メヒカノ （食品・飲料・タバコ）

中南米最大級のコンビニエンス・ストア・チェーンを展開、国内のみならず、海外にも店舗を構え、積極的な拡大を図る。この他、子会社にコカ・コーラのボトリング会社もあり。



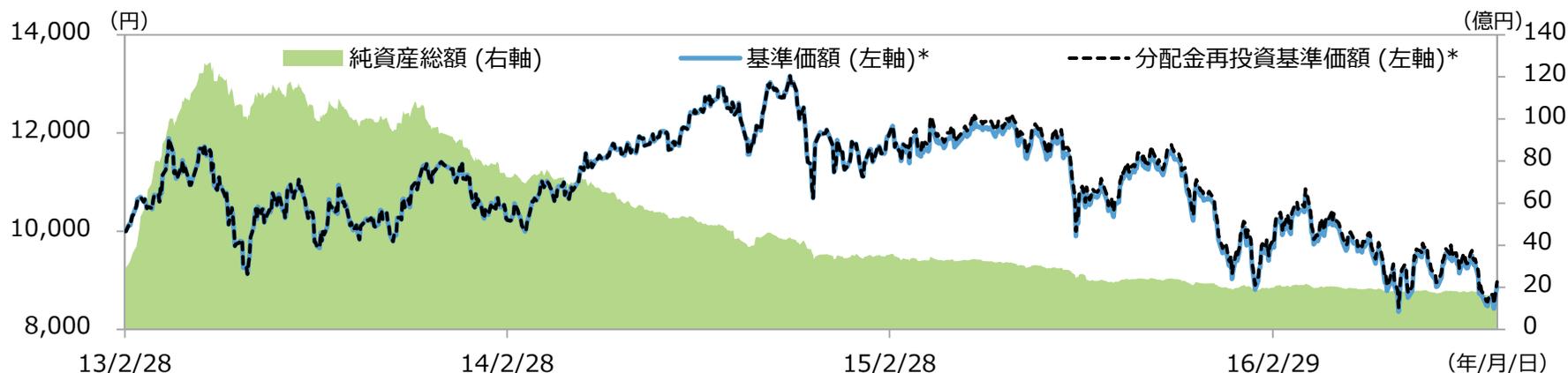
※上記はメキシコの代表的な企業を紹介するものであり、当ファンドへの組入れを示唆するものではありません。また、個別銘柄を推奨するものではありません。銘柄名は、報道等の表記を参考にH S B C投信が翻訳しており、発行体の公式名称やその和文訳と異なる場合があります。

出所：ブルームバーグ、各社ホームページのデータをもとにH S B C投信が作成

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

HSBC メキシコ株式オープン[®]の基準価額と純資産総額の推移

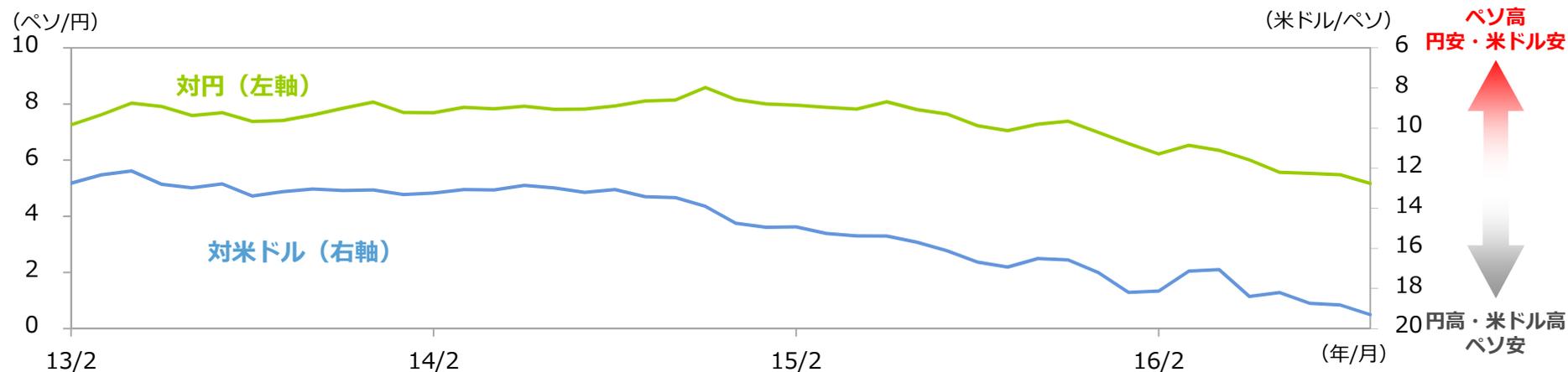
基準価額と純資産総額の推移 (2013年2月28日 (設定日) ~2016年9月末)



* 基準価額は信託報酬 (税込年2.058%程度) 控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。
将来の分配金は、運用状況によって変化します。

<ご参考>

メキシコペソの推移 (対円、対米ドル、2013年2月末~2016年9月末)



出所：データストリームのデータをもとにHSBC投信が作成

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

HSBCグローバル・アセット・マネジメントのご紹介

- HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、世界有数の金融グループであるHSBCグループの資産運用部門の総称です。
- 世界各国・地域の運用拠点を通じ、個人投資家および機関投資家向けに株式、債券など様々な資産クラスの運用を提供しています。
- HSBC投信株式会社は、HSBCグローバル・アセット・マネジメントの日本拠点として1985年に設立。1998年に証券投資信託委託業の認可を得て以来、HSBCグローバル・アセット・マネジメントの様々な運用商品、運用戦略を日本のお客様に提供しています。

各市場に精通したグローバルな運用体制

- 特定の運用戦略に特化した経験豊富な運用チーム
- 現地情報に精通した運用チームが投資の視点と分析を提供
- グローバルな運用プラットフォームが地域横断的なコミュニケーションを実現
- 厳格なリスク管理のもとで、優れた運用成果の達成を目指す
- 透明性が高い運用情報の開示



受託運用資産総額:
約**4,301**億米ドル¹

26の国と地域に拠点²

従業員数: 約**2,300**名²

約**500**名の
運用プロフェッショナル²

1. 2016年6月30日時点 (ブラジル拠点の運用残高を含む。同拠点は、7月に他社に売却済み。ブラジル拠点を除く運用残高は、4,061億米ドル)
2. 2016年7月31日時点

HSBCグループは1865年に設立*され、その持株会社であるHSBCホールディングスplcは英国・ロンドンに本部を置いています。ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、アフリカにまたがる71の国と地域に約4,400の拠点を擁する世界有数の金融グループです。

出所：HSBCホールディングスplc *設立年はHSBCグループの中核である香港上海銀行の設立年

お申込みメモ/委託会社、その他関係法人

お申込みメモ

<詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。>

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金の申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止及び取消しを行う場合があります。
信託期間	2013年2月28日（信託設定日）から2018年2月27日（償還日）まで
繰上償還	主要投資対象とする投資信託証券が国内規制上の要件に適合しないこととなる場合、または存続しないこととなる場合には、信託を終了します。また、ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年3月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時及び償還時の差益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、メキシコの証券取引所の休場日、ロンドン証券取引所の休場日（半休日を含みます。）およびロンドン、ルクセンブルグの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、購入及び換金の申込受付は行いません。
その他	基準価額（1万口当たり）は、翌日の日本経済新聞朝刊に「メキシコ株」の略称で掲載されます。

委託会社、その他関係法人

委託会社：HSBC投信株式会社 <照会先>



電話番号 03-3548-5690

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp

受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社：委託会社の<照会先>でご確認いただけます。

当ファンドの費用

＜詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。＞

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入金額に、 3.78%（税抜3.50%） を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.50% の率を乗じて得た額（換金時）
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対して、 年1.458%（税抜年1.35%） ※運用管理費用は毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 実質的な負担： 年2.058%（税抜年1.95%） 程度
その他費用・手数料	<p>ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 振替制度に係る費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用／監査法人等に支払う監査報酬等（純資産総額に対し上限年0.20%として毎日計算されます。） 投資先投資信託証券における売買に係る手数料、租税、カストディーフィー、監査報酬等 <p>※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に上限額等を表記できません。</p>

※当ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

＜留意点＞

- 当資料はH S B C投信株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は組入る有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果（損益）はすべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（クーリング・オフ）の適用はありません。
- 購入のお申込みにあたりましては、投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）を販売会社からお受取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。